



今号の京都うるつきまわりんぐでは、秋号に引き続きお寺をご紹介します！ 京大からは少し遠いですが、それでも行く価値のあるお寺を3か所取り上げました。今回は、メガヒット中のあのシリーズのキャラも登場！ いったいどうなる……？ ちょっとおかしなお寺紹介記事ですが、今回はNF特別号ということで、どうぞご笑覧ください。
(真都。)

Ω プロローグ Ω

—ある晴れた秋の日—

編集部員（以下、編）：あー……。勉強だるい。しんどい。何もしたくねえ……。

???：もう、こんないい天気の日は何ダラダラしてるんですかトレーナーさん！ せっかく京都に来たんだからお出かけしましょうよ！

編：ん、誰だ……って、え!? 女の子!? しかも馬の耳と尻尾が生えてる？

ウマの耳と尻尾が生えた女の子（以下、ウ）：なーに寝ぼけたこと言ってるんですかトレーナーさん!! せっかくマイルチャンピオンシップでこまで来たんですから、ついでに観光する約束だったじゃないですか！ 今日はしっかり付き合ってもらいますよ。さあ、行きましょう！

編：(やばい、状況が一切理解できない……) え、どこに行くの？

ウ：昨日言ったのに覚えていないんですか？ お寺巡りをするんですよ！ さあ、東寺まで走りますよ！

編：東寺ってどこだっけ……。ってうわああ!!

謎の女の子に腕を引っ張られながら走り出す。こうして僕たちの旅は始まったのだった。

Ω 東寺 Ω

ウ：着きましたよトレーナーさん、ここが東寺です！ ……って大丈夫ですか!?

編：ゼー、ハー、ゼー……。まさか、50分走り続けるとは思わなかった……。というか足速くない？ 僕体力には自信あるから追い抜けるかと思ったのに、全然だめだったよ。というかついていだけでも精一杯だった……。ゼー、ハー……。

ウ：足の速さで私たちに人間が勝てるわけがないですもん……。でも疲れてる場合じゃありませんよトレーナーさん、ここはすぐ由緒のあるお寺なんです。弘法大師に託されて発展したお寺で、世界遺産にも登録されてるんですよ！

編：弘法大師って、あの真言宗の開祖の人か。確かにすごいなあ……。紅葉もすごくきれいだね。

ウ：そうなんです！ 五重塔と紅葉の組み合わせが、ベタなんですけどやっぱり映えるんですよね～。夜は期間限定で紅葉のライトアップもやってるんで必見です！

東寺で参拝してお守りを買った後、慌ただしく次のお寺に向かった。しかしあの子、妙に長く手を合わせてたな……。何をお願いしてたんだろう？



↑ 金堂



↑ 五重塔

基礎データ

真言宗総本山のお寺で、境内には^{こんどう}金堂、^{がっこう}講堂、五重塔がある。金堂には本尊である薬師如来坐像と日光菩薩像・月光菩薩像が収められており、荘厳な雰囲気だ。講堂にはたくさんの仏像が配置されており、弘法大師による密教の教えを表現している。会話に出てきた夜間のライトアップは12月11日（日）まで開催されており、紅葉と五重塔の組み合わせが見事なので是非訪れてみてほしい。

① 拝観時間：開門5時～閉門17時

但し金堂・講堂は8時～17時（拝観受付は16時30分まで）

夜間拝観は18時～21時30分（拝観受付は21時まで）

② 拝観料：金堂・講堂 大人500円

但し12月11日までは金堂・講堂のチケットで五重塔初層にも入場できるため、大人800円になる。塔頭である^{かんちいん}観智院や宝物館は別途入場料が必要。すべての建物に入場できるお得な共通券もあるので、詳しくは公式サイトをチェックしてほしい。

③ アクセス：京都駅八条口から徒歩14分

京都市バス停留所「東寺道」から徒歩8分



Ω 六波羅蜜寺 Ω

編：ゼー、ハー、……、今度はどこだ……？ 「ろくはらみつじ」……？

ウ：そう、六波羅蜜寺です！ 「市の聖」として庶民の間で親しまれた空也を開基とするお寺です。

編：空也か、確か踊念仏の人だよな。

ウ：そうです！ 庶民の中に入って伝道に励んだ人なので、ダメダメでちっぽけな私の願いも叶えてくれるかな、って……。あ、そうそう、ここには令和館という博物館もあって、歴史の教科書に載っている空也上人立像や平清盛坐像、そして数々の由緒ある仏像を見られるんです！

編：へえ、そうなんだね。じゃあお参りしてから令和館にも入ってみようか！

お寺には本堂や令和館以外にも、六波羅探題跡の石碑や平清盛塚など数々の興味深いものがあった。それらを回って、僕たちは次のお寺へ向かった。



↑本堂

基礎データ

真言宗智山派のお寺。本堂に収められている十一面観音立像は辰年の時にのみ御開帳となる、なかなか見られない仏像だ。令和館には空也上人立像や平清盛坐像だけでなく、運慶・湛慶坐像や地藏菩薩立像など数々の寺宝を見ることができる。1つ1つの寺宝に詳しい解説がついており、歴史好き・仏像好きにはたまらないお寺である。

①拝観時間：開門8時～閉門17時

但し令和館は8時30分～16時45分（拝観受付は16時30分まで）

②拝観料：本堂 無料 令和館 大学生500円

③アクセス：京都市バス停留所「清水道」から徒歩5分

Ω 建仁寺 Ω

ウ：着きました。ここが最後です！

編：あれ、ずいぶん近いね。ここは？

ウ：建仁寺です。京都最古の禅寺として知られていて、法堂や三門といった建物、天井画や襖絵などの絵画、そしてお庭がとても綺麗なんです！ さっそく法堂に行ってみましょう！

編：おお～、とても厳かな雰囲気のお堂だね。うわ！ 2匹の龍が天井にいる！

ウ：大迫力ですね！ これは双龍図といって、仏法を守護するために描かれているそうです。次は方丈の襖絵やお庭も見てみましょう！

こうして僕たちは美しい絵画やお庭を楽しんだのだった。



↑法堂



↑法堂天井の双龍図

基礎データ

臨済宗建仁寺派の大本山。臨済宗開祖の栄西を開山とする。法堂には釈迦如来坐像と迦葉尊者・阿難尊者が祀られていて、天井には双龍図が飾られている。方丈では美しい襖絵を楽しめるほか、その11の顔であらゆる方向を見て人々を苦しみから救うとされる十一面観音菩薩像が収められている。他にも境内には両足院や霊源院といった塔頭があり、特別拝観の時には貴重な文化財や美しいお庭を公開している。

①拝観時間：開門10時～閉門17時（拝観受付は16時30分まで）

②拝観料：大人600円

③アクセス：京都市バス停留所「清水道」から徒歩3分

Ω エピローグ Ω

建仁寺にお参りした後、僕たちは京都レース場近くの宿に戻ってきた。もちろん走って。

ウ：トレーナーさん、今日はお付き合いいただきありがとうございました！

編：めちゃくちゃ疲れたけど楽しかったよ、こちらこそありがとう！

ウ：私、脚を痛めちゃってから調子が全然戻らないんです。それで昨日のレースでも思うように結果が出せませんでした。でも今日いっぱいお参りしたので、また元気に走れる気がします！ 次のレース見ていてくださいね、トレーナーさん!!

目の前の女の子がニカッと笑う。その時だった。3人の女神のような人影が現れたかと思うと、そのまま僕は光に包まれた。まぶしいっ……！

——気が付くと、見慣れた景色が飛び込んできた。自分の部屋だ。どうやら勉強机に突っ伏して寝ていたらしい。

編：そりゃあ夢だよな。しかし妙にリアルな夢だったな……って、あれ？ このお守りって……。

その半年とちょっと後、ずっと調子の悪かった競争馬が東京競馬場で大勝利を収めたらしいが、それはまた別のお話。

